

声の波動に乗って、音の時空を駆け巡るヴォイスサーフィン

声を「知る、聴く、遊ぶ」——不思議発見!

伝統芸能の新しい魅力を、初めての方にもわかりやすい解説と楽しいトークを交えてお贈りする大好評の「Traditional+」。シリーズvol.5で取り上げるのは、人の「声」です。

身体という最もシンプルな楽器が放つ「声」。日本の音楽の歴史は、さまざまな「声」によって彩られてきました。

朗々と流れる大河のように、微かに震える絹糸のように、いつの時代にも声の波動は言霊を呼び覚まし、うたに生命を与えてきました。

僧侶の唱える仏教音楽『聲明』、あの世からの思いを物語る能の『謡曲』、庶民の生活が生んだ『民謡』、そして同時代を歌う現代の『ポップス』まで。

日本には時代時代に生まれた声の伝統が、千年の時を経て今に引き継がれているのです。

私たちの声の系譜をたどる旅に出かけてみませんか?

東京発・伝統WA感動

東京文化発信プロジェクト

Traditional+

和の魅力発見シリーズ

トラディショナルプラス

・・・和を「知る、聴く、遊ぶ」

vol.5

Voice Surfing

声の系譜
Genealogy of Voice

Traditional+ vol.5

ナビゲーター: 小沼純一

作曲: 伊左治直

Voice Surfing

謡曲
Yokyoku
観世喜正
Yoshimasa Kanze

聲明
Shomyo
室生述成
Jussei Muro

ポップス
Pop
坂本美雨
Miu Sakamoto

民謡
Minyo
木津茂理
Shigeri Kitsu

Voice Surfing!

Let's ride on the waves of Japanese vocal music, and travel across the ancient to present.

Traditional+ is an introductory series to rediscover the beauty of Japanese traditional performing arts with performance, commentary and artist talk.

On the 5th volume, we explore the most primitive musical instrument of human beings – the voice.

In Japan, the music history has evolved with variety of voices.

Sometimes it appears like sonorous mighty river, faintly shaking silk threads, etc.

In all ages, fluctuation of voices awakes the power of words and endows songs with life.

Traditional+ leads you to the journey of genealogy of music of voice over a thousand years,

starting from the ancient vocal – Buddhist ritual chant “Shomyo”,

the narrative songs reached out from afterlife for accompanying Noh plays “Yokyoku”,

folklore songs born out of ordinary life “Minyo”,

to the most contemporary songs so-called “J-pop”.

At the end of program, Traditional+ presents a world premiere commissioned work

for those “voices” composed by Sunao Isaji.

Photo: 池田晶紀

Design: Yasuaki Ihara

平成26年 9月 7日(日) | 開場 15:30 | 開演 16:00

会場: スパイラルホール [スパイラル3F]

Date: Sunday, 7 September, 2014 Time: Opening at 15:30, Starting at 16:00

Venue: Spiral Hall [Spiral 3F]

Performance & Lecture

聲明

1200年前にインド、中国、朝鮮半島を経て日本に渡来した仏教音楽です。真言や経文に節をつけ儀式の際に唱えられます。西洋のグレゴリアン聖歌と並び、最も古い宗教音楽です。

「唄匿—始段唄」「六道講式」「存亡の秋」(新作聲明・鳥養瀬作曲)



Photo: bozzo

謡曲

能では台詞の全てが謡われるので、謡曲は能の台本とも言えます。室町時代に観阿弥、世阿弥、金春禅竹といった能役者により多くの曲が発表されました。安土桃山時代から江戸時代には武士や町民に愛好され、空前のブームとなりました。

「隅田川」(世阿弥と長男・観世元雅の作)、ほか



Photo: 青木信二

民謡

日本各地で庶民の間に歌い継がれてきた民謡には、その土地の風土や季節に育まれたさまざまな曲調があります。その発生によって、仕事に合わせて歌う「労働歌」、おめでたい行事に歌われる「祝い歌」、盆踊りなどの「踊り歌」、神楽が元になった「宗教歌」、そして「子守唄」などがあります。ご祝儀唄「越後松坂」海の唄「斎太郎節」山の唄「刈干切唄」盆踊り「郡上節」唄と太鼓の曲「八丈太鼓囃子」民謡の新しい風「幸せハッピー」(細野晴臣作曲・忌野清志郎作詞)



ポップス

現代のポピュラー音楽、ポップスを定義づけるのはとても難しい。ただ、現在の音楽環境のなかでもっとも耳に馴染みのある音楽に添えられている声、とても言ったら良いでしょうか。その特徴の一つはほとんどがマイクを通してスピーカーから出てくることです。90年代にはそれまでの歌謡曲と一線を画すJ-POPという言葉が生まれ、今では日本のポップス音楽の総称として使われています。「おだやかな暮らし」「雨とやさしい矢」、ほか



Talk & Performance – World Premiere Commissioned Work for Voice

Artist Talk

室生述成 × 観世喜正 × 木津茂理 × 坂本美雨 × 伊左治直 × 小沼純一
Jussei Muro × Yoshimasa Kanze × Shigeri Kitsu × Miu Sakamoto × Sunao Isaji × Jun-ichi Konuma

Performance

Traditional+ 委嘱新作

伊左治直 作曲 ユメノ湯巡り声ノ道行 To The Way of The Voices Touring Hot Springs Dreaming, by Sunao Isaji

○作詩・制作協力 新美桂子 ((株)ビエロタ) 日本のさまざまな「声の系譜」の底流には、日本人特有の感性や自然観、死生観があると感じていました。その観点から今回、それぞれの声を繋ぎ融合するテーマを考え辿り着いた場所、それは「温泉」でした。温泉は生死の淡いの場であり、庶民の娯楽の場であり、多くの文人が詩を残した場所でもあります。湯に身を沈める感覚は、どこか夢の中を浮遊する感覚に似ているとも言われます。各地の伝説や、坂口安吾、与謝野晶子らの言葉にのり、この沈みつつも浮遊する声の空間が願われることでしょう。(伊左治直)

Part 1

Shomyo

Shomyo is Buddhist chant music that was brought over to Japan through India, China, the Korean Peninsula about 1200 years ago. It is sung based on sutra and mantra with uniquely developed melodies at the ceremonies. It is believed as one of the oldest living forms of vocal and religious music along with Gregorian chant of the West.

Yokoyoku

Yokoyoku can be said "a script of Noh play", as all of the lines are sung in performance. Many of Yokoyoku songs have been presented in the Muromachi period by the popular Noh actors – Kan'ami, Zeami and Konparu Zenchiku. It has even become an unprecedented hit among samurai and common people from the Azuchi-Momoyama period to the Edo period.

Minyo

The folklore song called Minyo occurred among people's everyday life and has been handed down all over Japan. The climate and season of the land have fostered various tones such as "work song" for compensating labor, "festive song" for auspicious event, "dance song" for the Bon festival in which Buddhist honors the spirits of ancestors, "religious song" originated from kagura, the sacred dances and music performed at shrines, "lullaby" for children, etc.

Pop

The term Popular Music or Pop Music is hard to define. However, it would emit the singing voice familiar to most of our ears today. One of the features is that it mostly comes out of speakers through microphones. In the 1990s, the term "J-POP" came out as a generic term for Japanese Pop Music, which draws a line from the Showa-period standard pop songs, "Kayo-kyoku".

Part 2

Profile

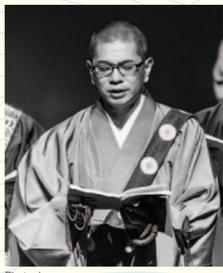


Photo: bozzo

室生述成 (天台宗僧侶・聲明家)
Jussei Muro – Tendai Sect Buddhist monk

1971年千葉県生まれ。宗教法人東榮寺、天台聲明七聲会所属。天台聲明を七聲会主宰・海老原廣伸僧正に師事。日本の聲明の二大潮流を成す真言宗・天台宗の指導者が宗派を越え97年に旗揚げした「声明の会・千年の聲」(旧「聲明四人の会」+シャブダ)に結成初期より参加。毎年新春にスパイラルで開催される定期公演「千年の聲」を基盤に、古典作品の紹介と優れた作曲家に委嘱する新作聲明の上演の中核メンバーとして活動している。「千年の聲」が委嘱した鳥養瀬作曲「阿吽の音」「存亡の秋」のCDリリースに参加(ピクチャー・エンターテインメント)。2014年3月「存亡の秋」アメリカツアーでは、NYのセント・パウル教会とワシントンDCのケネディ・センターにてソリストとして出演した。



Photo: 青木信二

観世喜正 (能楽師・観世流シテ方)
Yoshimasa Kanze – The Kanze School Shite-kata Noh actor

1970年、三世・観世喜之の長男として東京に生まれる。2歳半にて初舞台。「のうの能」「喜正の会」を主宰し、能楽「神遊」同人として多くの公演を手掛ける。本拠地の東京神楽坂の矢来能楽堂を中心に、全国各地での公演に多数出演する他、普及活動や講演も多く行う。また謡曲のCD化、能公演のDVD作成など能楽教材のソフト化にも積極的に取り組み、全国にまたがる観世九草会において、能の普及事業・謡曲指導に務める。公益社団法人観世九草会並びに能楽協会理事。法政大学大学院、皇学館大学非常勤講師。NHK邦楽技能者育成会講師。シンガポールITI講師を勤める。著書「演目別に見る能装束」(淡交社)、DVD「スピカろうそく能『鉄輪』『大般若』『道成寺』」(日本伝統文化振興財団)ほかの主演・作成・監修。



木津茂理 (民謡歌手・太鼓奏者)
Shigeri Kitsu – Folksinger / Japanese drummer

民謡尺八奏者・木津竹嶺の長女として生まれる。幼少の頃より民謡番組テレビ、ラジオ、ステージに出演。「太鼓を打ちながら民謡をうたう」という独自のスタイルで、国内外で演奏活動を行う。海外ツアーには数十ヶ国に及ぶ。ジャンルにとらわれることなく、坂田明氏、細野晴臣氏等、ジャズやポップスのミュージシャンとのコラボレーションや、レコーディングも多く参加している。CM音楽や映画音楽演奏なども手がけ、2004年アテネオリンピック、シンクロナイズドスイミング音楽「阿波おどり」を、津軽三味線澤田勝秋氏とのユニット「つるとかめ」で演奏。民謡を身近に感じてもらうため各地でワークショップを行うなど、民謡普及に力を注いでいる。主なCDリリースに、アルバム「つるとかめ」「あいかぜ」「しゃっとせ」と、ソロアルバム「JAPANESE VOICE」。



坂本美雨 (歌手)
Miu Sakamoto – Pop singer

1980年生まれ。90年に音楽家である両親と共に渡米。ニューヨークで育つ。97年「Ryuichi Sakamoto feat. Sister M」名義でデビュー。以降、本名で音楽活動を開始。2013年初のベストアルバム『music – best of 1997 ~ 2012』を発表。音楽活動の傍ら、演劇出演、ナレーション、執筆も行う。東京FM系全国ネット『坂本美雨のディアフレンズ』(月~木11時)パーソナリティを担当中。ニューアルバム「Waving Flags」発売中。動物愛護活動をライフワークとし、犬の愛猫家である。



伊左治直 (作曲家)
Sunao Isaji – Composer

1968年生まれ。日本音楽コンクール第1位、日本現代音楽協会作曲新人賞、芥川作曲賞、出光音楽賞を受賞。これまでの主な活動としては、ラジオオペラ「密室音響劇《血の婚礼》」の制作、「南蛮夜会—伊左治直個展」開催、映画祭「ジャック・タチ・フィルム・フェスティバル」オープニングライブ、現代音楽祭「Music from Japan」(New York)にて2度の招待作曲家、Festival Atempo Caracas (Venezuela) 招待作品、サントリー芸術財団コンサート「Transmusic」での2度の特集演奏会などがあるほか、伝統楽器への作曲としては《南蛮シングル》(箏+2人のホーメイ etc.)、《舞に酔い、甯に迷い》(箏+バグパイプ+ハーディガーディ etc.)、雅楽作品《紫御殿物語》などがある。日本史、民俗学、時代劇、サッカー、ブラジル音楽、映画などへの興味とその影響から、声、即興、パフォーマンスを取り入れたユニークなスタイルの作品を数多く発表し、しばしば自身も出演する。また、「カデルノジャポニカ」「バンダ・ショロ・エレクトロ」に参加し、童謡、昭和歌謡、ブラジル音楽に独自のアレンジを施したライブ活動も展開している。

公式ホームページ 東京文化発信プロジェクト http://www.bh-project.jp/ 東京発・伝統WA感動 http://www.dento-wa.jp/

東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が、芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施している事業です。多くの人々が文化に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルをはじめ多彩なプログラムを通じて、新たな東京文化を創造し、世界に発信していきます。http://www.bh-project.jp/

Tokyo Culture Creation Project, organized by the Tokyo Metropolitan Government and the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture in cooperation with arts organizations and NPOs, aims to establish Tokyo as a city of global cultural creativity. The project facilitates involvement of a larger number of people in creation of new culture as well as it creates and globally disseminates new Tokyo culture through organizing international festivals and other diverse events. http://www.bh-project.jp/en/

○入場料金 全席自由(整理番号付) 一般2,000円/学生(高校生以下)1,000円 【平成26年7月3日(木)チケット発売開始】

○チケットお取り扱い ヴォートル・チケットセンター 03-5355-1280 (平日10:00~18:00) http://ticket.votre.co.jp/

チケットぴあ 0570-02-9999 【Pコード: 437-065】(自動応答システム24時間受付) http://t.pia.jp/

イープラス http://eplus.jp/ 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (10:00~18:00) http://www.t-bunka.jp/ ※車椅子席は東京発・伝統WA感動実行委員会事務局でお求めください。 ※未就学児入場不可

○お問い合わせ 東京発・伝統WA感動実行委員会事務局 http://www.dento-wa.jp/ Tel. 03-3467-5421 (平日10:00~18:00) Email: info@dento-wa.jp

○Admission Fees ¥2,000(adults) / ¥1,000(students / under 18 years old) *non-reserved seats, with entry reference number printed on ticket

○Ticket Sales From Thursday, 3 July, 2014 [Votre Ticket Center] 03-5355-1280 (Weekdays 10:00~18:00) http://ticket.votre.co.jp/

[Ticket PIA] 0570-02-9999 [P-code: 437-065] http://t.pia.jp/ [e+] http://eplus.jp/

[Tokyo Bunka Kaikan Ticket Service] 03-5685-0650 (10:00~18:00) http://www.t-bunka.jp/ *Tickets for wheelchair seats are available at Secretariat of the Tokyo Traditional Arts Program Executive Committee. *No entry for children under 6 years old. *Please note that this program is presented in Japanese only.

○Inquiries Secretariat of the Tokyo Traditional Arts Program Executive Committee Email: info@dento-wa.jp http://dento-wa.jp/en/

○企画コンソート・ナビゲーター: 小沼純一 ○プログラム構成・制作: NPO法人魁文舎 http://www.kaibunsha.net/ ○会場協力: 株式会社ワコールアートセンター ○主催: 東京都 東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団) 東京発・伝統WA感動実行委員会 ○協力: 朝日新聞社

○Venue offered by: Wacoal Art Center ○Concept Director: Jun-ichi Konuma ○Planner and Producer: NPO KAIBUNSHA http://www.kaibunsha.net/ ○Organizers: Tokyo Metropolitan Government Tokyo Culture Creation Project Office (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture) Tokyo Traditional Arts Program Executive Committee ○Co-operation: The Asahi Shimbun Company

スパイラルホール [スパイラル3F] Spiral Hall [Spiral 3F] http://www.spiral.co.jp/



東京都港区南青山5-6-23 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」B1出口前、もしくはB3出口より渋谷方向へ1分。*B3出口にはエスカレーターがあります。 Access: 5-6-23 Minami-Aoyama, Minato-ku, Tokyo Omotesando Station (Ginza, Hanzomon and Chiyoda Subway Lines) B1, B3 exit

*内容は変更になる場合がございます。